



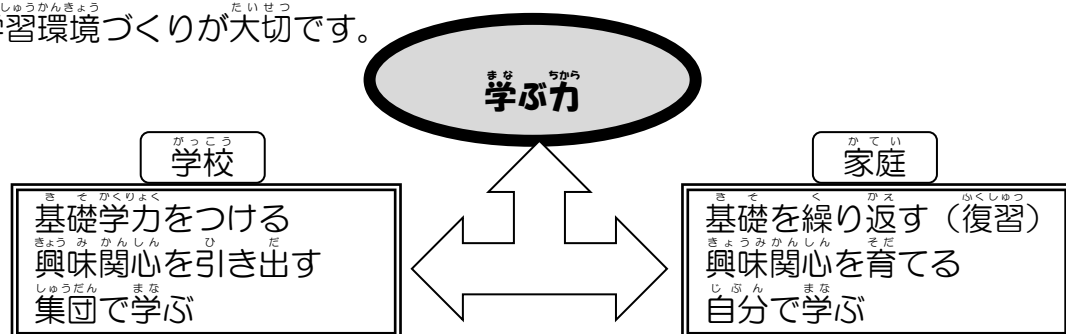
かめやまひがししょうがっこう
亀山東小学校



がく いえ学のススめ（1・2年生）

子どものよりよい成長のために ～家庭での学習環境づくり～

子どもの「学ぶ力」を育てるには、学校と家庭の連携が必要です。学校で学習したことをその日のうちに復習すると、学習した内容の8割は定着するのに対し、復習をしなければ、定着は2割まで落ちてしまいます。子どもたちが学んだことを生かしていくために、家庭での学習環境づくりが大切です。



学ぶ力とは？

様々なことに興味をもち、自ら学習に取り組む。
毎日決まった時刻に集中して学習し、理解・習得する。
学習したことを活用する。

「学ぶ力」には、上記以外にも、創造力・一般化する力・丁寧にに取り組む力など、多くの力があります。学校・家庭それぞれで、子どもたちに正しい学習習慣をつけることが、これらの「学ぶ力」を養い、学習に大きな影響を与えます。本校では、家庭学習ノート「まなびノート」を用いて、この「学びの習慣」と「創造力」を身につけていきます。

今はこんなとき

いろいろなことに興味をもち、どんなことでもやってみようと意欲にあふれています。認められたいという気持ちが強いので、ほめると喜んで取り組むようになります。また、「どうして」などの疑問を通してわかることの楽しさ・喜びを知ります。ただ気が散りやすい面もあるので、子どもの学習の様子を見てあげてください。

いえ学カードより

- 早寝をすることで、朝が早く起きられるなった子どもが多い。
- 宿題を決めた時間にしている子どもが多い。
- わからない問題があったとき、家族にたずねる割合が高い。
- 親子ともに読書の時間を作っている家庭が多い。

1・2年生

◎学習環境づくり

①時刻と時間を決める

時刻

- ・〇時～〇時にする。
- ・夕食までにする。
- ・帰ったらすぐにする。 など

時間

学習時間のめやすは、30分程度。

②学習の流れを決める

《例》

- (1) まず宿題をする。
- (2) 次に復習をする。
- (3) そして、読書や予習をする。

③集中できる環境をつくる

- ・テレビや音楽を消す。
- ・まんがやおもちゃを片づける。
- ・削った鉛筆、消しゴム、定規など、学習用具をそろえておく。

④準備をする

- ・宿題を確認する。
- ・鉛筆をけずっておく。
- ・気が散るものを片づける。

☆ポイント

- ・おうちの人が見ているところで学習する。
- ・毎日同じ時刻にできるようにする。
- ・学習する時間を決めて取り組む。

⑤終わったら

- ・正しいか間違いがないか見直す。次の日の準備をする。

◎いえ学の内容

国語

- ・はっきりした声で音読する。
- ・正しく筆順をおぼえ、ていねいに書く。
- ・教科書の文章をノートに視写する。
- ・毎日読書をする。

算数

- ・数や量を数えたり、比べたりしながら自分で問題を作り、解く。
- ・〇ページ・〇問・100マス計算を〇秒など、めあてを決めて取り組む。
- ・たし算・ひき算・九九をすらすら言えるようにする。

その他

- ・家族と一緒に、図書館や博物館などに行く。
- ・その日にあった出来事を絵や文章で表現する。
- ・家族と一緒に家の仕事をする。

☆早寝・早起・朝ごはんの生活習慣を整え、家族とあいさつを交わしましょう。